

# 安倍政権 国民の「ねじれ」深刻

選挙の結果、「衆参のねじれが解消した」と言われますが、国民多数と自民党政治との「ねじれ」は一層深刻です。

## 憲法改悪

安倍首相は「国民投票ができる状況をつくっていく」とし、自民党は憲法改正草案を説明する大規模な「対話集会」を開く計画。しかし国民は9条を変えて「国防軍」をつくることに62%が反対（「朝日」5月2日）。共産党は、9条をはじめ、憲法の全条項を守ります。

## 消費税増税

参院選後の世論調査（「朝日」24日）でも「反対」（58%）が「賛成」（30%）を圧倒的に上回ります。麻生副総理は「国際公約に近い。変えると大変な影響が出る」と税率引き上げを強行する構え。共産党は、暮らしと経済を壊す増税は中止、増税するなら富裕層と主張。

暴走と対決 日本共産党 抜本的対案しめす

## 雇用ルール改悪

解雇が自由となる「限定正社員」の導入、残業代ゼロの「裁量労働」の拡大など雇用ルールの改悪の論議を今秋開始し、来年の通常国会に法案提出を狙っています。共産党は日本の企業を「総ブラック企業化」するものと批判。働く人を守るルールをつくろうと提起。

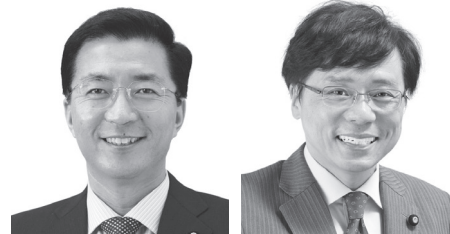
## 原発再稼働

再稼働反対は56%（「毎日」29日）。ところが選挙後、経産大臣が原発再稼働へ国が先頭に立って地元説得に当たる決意をのべました。1日に400トンの汚染水が増え続けるなど、事故は収束していません。共産党は「即時原発ゼロ」を決断し、直ちに廃炉に進むのが最も現実的と提案。

伸びは共産1位  
自民票は3割弱  
維新は激減

比例代表選挙の近畿（大阪、兵庫、京都、滋賀、奈良、和歌山）での各党の得票を昨年総選挙と比較すると、一番伸びたのは38%増の共産党。

自民党は「圧勝」と報じられていますが、伸びは10%に及ばず、得票率は3割弱。「みんな」も減り、「維新」は3分の2近くに大減票。民主党は4分の1減らし第5党に転落しました。



山下 芳生

井上 哲士



小池 晃



紙 智子



仁比 聡平

## 参院選 日本共産党の当選者

力あわせて  
がんばります



辰巳 孝太郎 (大阪)



倉林 明子 (京都)



吉良 佳子 (東京)

比例代表選挙 近畿の結果	日本共産党	自民	維新	公明党	民主党	みんな	社民	生活	みどりの風
今回得票	1,010,797	2,556,129	1,937,066	1,390,697	891,420	551,298	116,269	72,052	42,244
今回得票率	11.62%	29.38%	22.26%	15.98%	10.25%	6.34%	1.34%	0.83%	0.49%
昨年総選挙比	137.90%	109.89%	64.59%	112.67%	75.99%	86.77%	87.38%	-	-